



NPO法人会計基準説明会

昨年7月に策定された「NPO法人会計基準」は、NPO法人の会計報告の質を高め財務の観点から活動の実態を明らかにすることでNPO法人の信頼性を高めることを目的としています。しかし、新しい会計基準での会計報告はまだまだ少ないのが実情です。



そこで、島根県では「新しい公共」支援事業の一環として「NPO法人会計基準」の普及に取り組んでいきます。その第一弾として「NPO法人会計基準説明会」を開催します。また、国会での今後の動向が気になる「税制改正大綱」についての最新情報もお話いただきます！

浜田

7月13日(水)
13:00~16:00
いわみぷらっと
会議室
定員：60名

松江

7月14日(木)
13:00~16:00
島根県民会館
3階大会議室
定員：100名

- 対象：興味がある方ならどなたでもご参加いただけます。(NPO法人、市町村担当者、税理士など)
 - 参加費：無料
 - 講師：税理士 **脇坂誠也氏**
- ※ご参加の皆様には当日テキスト本として、「NPO法人会計基準【完全収録版】」を配布いたします。
☆問い合わせ☆
(公財)ふるさと島根定住財団
TEL：0852-28-0690 E-mail：shimane@teiju.or.jp

NPO入門講座

NPOのはじめの一歩!

NPOに興味があるけど…NPOって何?
ボランティア団体との違いは?
NPO法人設立を検討しているけど…法人格は必要?
今、知っておきたいこと。ズバリ、お教えます。

日時
会場
定員

【松江】 8月23日(火)13:00~16:00
スティックビル401(30名)

【浜田】 8月30日(火)13:00~16:00
いわみぷらっと(20名)

参加費

無料

講師

中野 俊雄氏(行政書士・当財団専門相談員)
樋口和広(当財団地域活動支援課長)

対象者

NPOに興味のある方・団体設立を検討中の方

助成金&イベント情報



募集情報



イベント情報



助成情報



平成23年度地域における 男女共同参画連携支援事業

~7/8

- 締切日:7月8日(金)まで
- 助成対象:地方公共団体又は民間団体等(地域のNPOや企業、大学等と連携して地域課題の解決にあたり、男女共同参画の視点を入れた効果的な解決に向けて取組を行う企業又は団体・協議会)
- 助成金額:1件あたり180万円以下
- 問合せ:内閣府男女共同参画局総務課
☆男女共同参画局のHPに概要があります
提出先 Email: renkei.chiiki@cao.go.jp



しまね女性ファンド 後期助成事業募集

~7/15

- 締切日:7月15日(金)(当日消印有効)
- 助成金額:①対象経費の2/3(上限50万円)
②対象経費全額(上限10万円)
- 助成対象:①魅力ある地域づくり、男女共同参画社会づくり、次代を担う人づくり、環境づくりの活動
②男女共同参画社会づくりの普及・啓発活動
- 問合せ:公益信託しまね女性ファンド 事務局
TEL:0854-84-5514
<http://asuterasu.pref.shimane.jp/swc/index.html>



財団法人 松翁会 社会福祉助成金

~7/31

- 締切日:7月31日(日)(当日消印有効)
- 助成金額:一件あたり80万円(総額1000万円)
- 助成対象:原則として法人施設、団体であること。(但し法人格がなくても、特に効果が期待できる場合は対象)
- 対象活動:社会福祉に関する民間の事業・研究
- 問合せ:(財)松翁会 事務局 社会福祉事業部助成係
TEL:03-3201-3225
<http://shouhukai.or.jp/>



みずほ福祉助成財団 社会福祉助成金募集

~7/31

- 締切日:7月31日(日)必着
- 助成金額:事業助成100万限度、研究助成150万限度
- 助成対象:社会福祉法人、NPO法人、任意団体、共同作業所等又は研究グループ(3名以上)
- 対象活動:障害児者に関する事業及び研究で、先駆的・開拓的の事業及び研究を優先します。(但し、研究助成については「社会福祉(ソーシャルワーク)に関する研究」も可とします)
- 問合せ:財団法人みずほ福祉助成財団 事務局
TEL:03-3201-2442
<http://homepage3.nifty.com/mizuhofukushi>



子育て支援活動の表彰 & エッセイ・コンクール

~9/30

- 住友生命 第5回未来を築く子育てプロジェクト
- 締切日:9月30日(金) 必着
- 募集対象:①表彰…子育て環境づくりに資する活動
②エッセイ…「子育て・子育て」にまつわるエッセイ
- 募集規定:①表彰…継続的に、ロールモデルとなる活動を行っていること②エッセイ…未発表のもの
- 問合せ:未来を築く子育てプロジェクト(住友生命)
TEL:03-3265-2283
<http://www.sumitomolife.co.jp/child/>



パッチワークキルト 作品展

7/20
~25

- 奥出雲ファンタジー～みんな集まれ!楽しい布の世界へ～
- 日時:7月20日(水)～7月25日(月)
- 会場:島根県立美術館 ギャラリー
- 入場料:無料
- 出展者:綿恋くらぶ、奥出雲町の皆さん、児童館に集まる子どもたち、パッチワーク作家 山口玲子さん ほか
- 主催:綿恋くらぶ
<https://www.shimane-ikiiki.jp/events/show/1482>



「魂のボーカリスト」コンサート 「歌う。尼さん」コンサート

7/7,8
7/10

- 「魂のボーカリスト」杉山裕太郎コンサート
日時:7月7日(木)15:00～ 斐川西中学校
7月8日(金)11:00～ 大社中学校
- 「歌う。尼さん」やなせ ななコンサート
日時:7月10日(日)13:30～ ビックハート出雲
- 参加費:無料
- 問合せ:NPO法人いずもサポートセンター
TEL:0853-22-7190



しまね人権 フェスティバル 2011

7/24

- 日時:7月24日(日) 9:30～15:30
- 会場:島根県立産業交流会館「くにびきメッセ」
- 費用:入場無料
- 内容:トークライブ&猿まわし、島根スサノオマジック 選手による1日人権擁護委員啓発活動、特産品販売、雑貨物販など
- 問合せ:島根県人権啓発推進センター
TEL:0852-22-6476

島根 で頑張る人

山陰発ていねいな暮らし の提案

水を張った棚田の印象的な山あいのどかな田園風景。そこに、控えめな「くらしの学校」の看板がよく馴染んでいる。

結婚して子供とあちこち一緒に出かけるうちに、それまで、どちらかというマイナスイメージでとらえていた山陰が、実はのびのび子育てができる自然豊かで素敵な環境だということに気付く。「子供がいても、どこに住んでいても、くらし目線で一緒に楽しみながらできるなにかをやりたい。たくさんの人にもっと山陰を好きになってほしい。」

ものを書くことが得意な梅さんと意を同じくする写真が好きな今若さん、その他ものづくりが得意な仲間と、6年前「くらしアトリエ」を立ち上げた。

その後、ご主人の転勤に伴い、隠岐への引越し。仲間と離れ離れになっても、つながって活動が続けられるよう、メールやチャットなどデジタル媒



「くらしの学校」の授業風景

体は必須だった。学ぶことが好きな仲間がそれぞれの分野で試行錯誤しながら自己研鑽を重ねていく。大人になってからの学びは苦にならなかった。

最初のイベントでは多くの人に来てもらい、ある意味大成功を収めた。しかし、梅さんは戸惑いを感じていた。「物販ではなく、人と人とのつながりや、作り手の思い・情熱を伝える活動がしたい。お店がやりたいのではない…。」自然豊かなこの山陰で、ものづくりをする人たちと共に、食や手づくりをテーマとしたイベントを開催し、広く伝えていく。そのミッションを掲げて、団体としての意識を固め、NPO法人化へ。

「朝市」のワークショップ参加者の中から上がってきた「大人になっても、学びたい」という声をもとに、いろいろな種類のワークショップの集合体「くらしの学校」を企画。拠点を雲南市大東町畑鶯(はたひよどり)に得て、連続受講の形が可能に。そこでの「気づき」により、日々の暮らしがいつもよりちょっと楽しく、豊かなものになる。それが自分のふるさつを見直すきっかけになったら。さらには、そこから地域とのつながりを考えたり、参加するといった新しい動きにつながっていくといい。

「最近になって改めて気付いたんです。本当は山陰が昔から好きだった、ってことに。」以前は引け目を感じてそう言えない雰囲気があった。そういった意識も少しずつ変えていければ…。

山陰に生まれ育った女性の、ユニークな地域づくりにエールを送りたい。

“島根で頑張る人”は島根県で活動する人にスポットを当て、考え方や経験から団体活動に迫るコーナーです。スタッフの「学び」も兼ねて取材させていただいています。



NPO法人くらしアトリエ 代表理事 梅 慈子さん

鳥取県琴浦町出身。

「どこに暮らすか、ではなく、どう暮らすか」を大切に、多くの人たちにもっと山陰を好きになってほしい、というメッセージを発信する。「これからは拠点を提供してもらっている地域にも楽しみながら関わっていききたい。」

ウェブサイト「SLOW+SLOW」
<http://www.slow-slow.com>

今までの主な活動

「山陰から始まるていねいな暮らし」の一環として、ものづくりの作り手の紹介・販売のほか、「くらしの学校」「朝市」などを開催する。女性の視点で、山陰に住む人々の、文化的発展・意識の向上を目指す。

情報発信

当センターでは、NPO法人の皆様の情報発信支援を行っています。そこで現在、2つのサイトによる情報発信の場を設けています。

どちらのサイトも、団体登録をすることでイベントの案内や更新情報を発信出来るようになっていきます。

⇒登録がまだの団体の方は

この機会にご登録ください！

⇒登録済みの団体の方は、

団体情報の更新もお忘れなく！

どんどん活用して活動にお役立て下さい。

☆県民活動応援サイト 「島根いきいき広場」

<https://www.shimane-ikiiki.jp/>



県内のNPO法人・ボランティア団体を検索したり、ボランティアの募集や、自分にあった活動・イベントを探すことができます。

☆しまね地域ポータルサイト 「だんだん」

<http://shimane.canpan.info/>



県内のNPO法人・地域づくり団体の情報公開度や組織概要、活動内容を閲覧できます。また、CANPANブログでの新着情報がアップされます。

しまね田舎ツーリズム 夏こそ田舎へ
「何もないところのなんでもできる」田舎体験会

第1弾

日時 7月2日(土)
会場 伯太文化伝承館「のどか村」
 安来市伯太町上十年畑403
【体験内容】 古民家での田舎の生活体験。
 ホタルも飛び交い、蚊帳をはって宿泊。

1泊2日の田舎体験!
 家族づれ大歓迎!

第2弾

日時 7月7日(木)
会場 浜田・弥栄「陽気な狩人」
 浜田市弥栄高内イ333-1
【体験内容】 ワイルドで、ちょっと冒険的、
 そして遊び心いっぱい。



第3弾

日時 7月16日(土)
会場 大田・佐津目「ごみみの里」
 大田市山口町佐津目235-1
【体験内容】 いろいろを囲んで、まさに昭和30年代の田舎生活そのまま

定員 限定10名
 (定員になり次第締め切ります)

会費
 1泊2食体験料
 大人 8,000円
 小学生 5,000円

スケジュール
 14:00 現地集合
 |
 翌日 10:00 解散

詳しくは
<http://www.teiju.or.jp/>
 「しまね田舎ツーリズム
 平成23年度研修会参加者
 募集!」をご覧ください。

◎申込み・問合せ先 ※申込締切 開催日の一週間前までに

(公財)ふるさと島根定住財団 地域活動支援課(担当:桔梗) Tel 0852-28-0690 Fax 0852-28-0692
 石見事務所(担当:河野) Tel 0855-25-1600 Fax 0855-25-1630

**イベント
 大歓迎
 案内**



地域づくり団体、NPO法人の皆さんの活動が分かるパンフレット、報告書、定期発行物やチラシなどを随時受け付け、設置スペースを設けています。広く県民にPRするツールとして、当センターにある地域づくり・NPO情報コーナーを御利用ください!

直接財団にお持ちいただくか、郵送での受け付けもいたします。

イベント情報、助成情報など張り出してあります。チラシなど掲示依頼がありましたらお声をおかけ下さい!



松江サロン情報掲示板

松江サロン図書スペース正面



NPO法人別で保管しています。バックナンバーもあります

制作スタッフ日記

例年より、早すぎる梅雨入りがかかりしながらか、少しでもデスクまわりをさわやかに、近頃お気に入りの100円ショップで、ミニ観葉植物を購入。楽しんでます。梅雨時は、植物の、勢いのいいこと!

つやつやとした若葉が先端にでいると、なんだか、癒される、というより、元気づけられるほど。やはり、自然のもつ、生命力に大いに期待したくなります。被災地でも、荒れた土地に命が萌芽する時が、必ずおとずれますように。



内田 麻紀



柏木 ゆり子

ドラマの題材にもなったことのある「ドクターヘリ」。先日ついに島根県のドクターヘリが始動しました。

出雲市の中央病院を基地病院として、県西端の吉賀町にも40分で到着できるとのこと。医療不足が深刻な県西部の助力に繋がることを願うばかりです。こう見えても(?!)小さい頃からしょっちゅう病院にお世話になっているので、やはり医療の進歩は気になるところ。

少しでも多くの方が健康に暮らせる島根を目指す医療の方々、応援しています!

